



P1. 渋谷所長の一言



P2. 新任・退任 挨拶



P3. 第九演奏会

放送大学埼玉学習センターだより

さきたま



P4. 学生活動のページ



P5. 生涯学習奨励賞



P6~P8. センターよりお知らせ

所長の一言

ニーチェは晩年、自分の人生の軌跡を振りかえって、「永遠回帰」思想に到達した。一度でも至福の瞬間を味わい肯定したのであれば（生きていてよかった、と）その後のすべてが苦難と不幸の連続であったとしても、同じ人生が無限に繰り返されることを、「よし、もう一度」と受容しなければならぬ、とする思想である。

その必然性を運命として受け止めたうえで愛するのが「運命愛」である。皆さんは、この極端な哲学をどう思いますか。

埼玉学習センター所長
渋谷 治美

新任客員教員挨拶

小澤 基弘



皆さん、はじめまして。私は埼玉大学教育学部で美術、特に絵画と絵画に関わる教育について教えています。昨年度から放送大学の面接授業も担当させていただいております。昨年の授業のタイトルは「画家はなぜ描くのか」でした。私は絵画の制作者、つまり画家です。17歳の頃から描いていますから、かれこれ40年以上絵を描き続けてきました。長きに渡る画家としての体験から、絵を描く理由について、私自身そして他の画家たちについて、お話をさせていただきました。今年度も同じような授業をする予定でいます。

渋谷所長より客員教員の依頼を受け、昨年度の受講生の皆さんが極めて熱心に授業に取り組まれている様子に感心をしていただけたこともあり、即答で受けさせていただきました。放送大学は私の所属する埼玉大学、あるいは他の大学とはそのあり方がかなり異なります。年齢層の幅広さ、同じ教室に若い方々からご高齢のかたがたまで、多様な世代の学生さんたちが集い、同じ授業を聞きそれぞれの立場から感想を述べあうという形態は、教える私にとっても大きな刺激となります。また年齢層の異なる受講生の皆さん相互も刺激を与え合っている様子が伺い知れました。退職をされた後も新しい知識を求めて貪欲に学習に取り組んで見える多くの学生さんたちの姿を見ると、もうしばらくで私も大学を退職になりますので、その後の生き方の大きな参考になります。いずれにしても、私にとって放送大学で客員教員をさせていただくことは、極めて有意義だと思っております。今後ともなにとぞよろしくお願いいたします。

まだ客員教授として何をすべきか、様子がわからないでおります。今後徐々に仕事の内容がわかりはじめることと思っております。私は画家であると同時に、絵画そして美術に関わる教育研究も進めております。それは広く教育それ自体の研究とも言えます。美術という狭い枠組みで考えるのではなく、広い教育とは何かを明らかにしていきたいと思っております。ですから同じような問題意識を抱いて見える学生さんたちにとって、少しでも何かしらのアドバイスができればと思っております。

退任客員教員挨拶

客員教員退任にあたって

宇田 和子

2017年3月31日をもって5年の任期を終え、職を離れることとなりました。寂しい限りです。熱心な学生の皆さま、有能で親切な事務の方々、そして知識豊富でやさしい他の客員教員各位と一緒に仕事をさせて頂いた5年間は、心温まる時であり、自分自身の研究や授業作りへの良きモチベーションを得た期間でもありました。

お二人の所長にお伝えしました。菅野先生からは、人文地理のお話や海外巡検の意義をお聞きすることができました。現、渋谷所長からは、哲学・倫理・音楽・英文学まで幅広い分野の教養を頂戴しました。そして渋谷先生は、面接授業学生アンケートを授業担当教員へフィードバックするなど、新しいセンター運営を導入され、この事は自分の面接授業を受講者ニーズに合わせ、かつ授業の質を向上させることに役立ちました。

学習相談は文学関係の放送授業科目や英語に関する質問を多く頂戴し、楽しい時でした。

サロンもまた、楽しい事項でした。私は「製菓衛生師」という国家資格を持っており、料理や紅茶のレシコンテストで入賞し、最近ではEテレのお菓子関係の番組へ学術的な情報を提供しています。ですから、「アフタヌーン・ティー」でリーフ・ティーを使って紅茶を入れるサロンなど、私にとって大きな喜びでした。オーストラリア人作家による「Jポップ・公開セッション」はパーヴォイント・ピアノ・歌を用いて英語で行われ、埼玉新聞に掲載されました。

1年の内、2ヶ月くらい、海外出張。出講が不定期となりご迷惑をおかけしましたが、世界93ヶ所を歩きまわり、危険な状況にも合いましたが、世界を知り、英文学・国際交流・食文化研究をするには役立ちました。

4月以降もさいたま市の国際交流センターや学会で忙しいです。そして面接授業ではまだまだ、埼玉学習センターへ参ります。どうぞ今後とも、ご厚誼下さい。



事務職員の交代

教務係

着任 山田 桂子 退任 勝山 佳子

「第九」特別演奏会に参加して

埼玉学習センター 南雲 功

3月26日、東京藝術大学奏楽堂で放送大学「第九」特別演奏会が行なわれた。埼玉SCで練習した、渋谷所長を始め埼玉、群馬、渋谷、栃木、文京の学生48名（うち途中退会、欠席者2名）も加えた、総勢255名の放送大学合唱団のベートーベン交響曲第九番の演奏会である。埼玉SCでは、2015年の面接授業に始まり、サロンとして練習が続けられた。当初は、多くの方が楽譜どころか、ドイツ語の発音も知らない状況であった。いかに無謀かということすら知らない挑戦であった。埼玉だけで、本番までに20日以上練習が行なわれた。

2016年8月27日文京SCに学長を始め、南関東を中心に長野、静岡などからも先生、職員、学生、同窓生が合唱団員として一堂に集まり合同練習が始まった。予定されていた熊本からの参加者は震災の為、断念された。初回の合同練習は、今から聴くと合唱になってないが、熱気だけはすごかった。年が明け、2月4日6回目の合同練習は、オーケストラとの初顔合わせである。ピアノ伴奏ではなんとかなっていたものが、オケとの競演で、タイミング、リズム、音程がうまくとれない。

10回の合同練習で本番を迎えた。当日出演受付開始時間前にはすでに、半分以上の団員が集まっていただろう。多くの方が熟睡できず、早く起きてしまったとのことである。横山先生の本番に向けた力を抜いた発声練習と、奏楽堂での音響に合わせたドイツ語の発声法なども指導される。午前中のゲネプロ（総稽古）ではオケとの合わせも何とかこなし、本番でもこの程度の仕上がりならいいかという程度に仕上がったと思う。合唱団の起立のタイミングは揃わない。コンサート・ミス・トレスの長尾春花さんが合図を出してくれることになった。この辺の気の付き方はプロとしてさすがである。

昼食後、雨も気にせず楽屋に向かう。表にはお客様の長い列。時間を早めようと検討もされたようだが、すでに各担当が分単位で動いているため、雨の中をお待ちいただくことになる。楽屋の団員も緊張した面持ちで、自分の列の確認に追われている。登壇すると客席には、8割程度（集計88%）の客席が埋まりひとまずほっとする。茂木先生の水先案内の後、指揮者の山本先生が入場し、第一楽章が始まる。合唱団はしばらく座って聞いているが、オケの響きが午前中とまったく異なり、美しくバランスの取れたしかも力強い響きをしている。プロの本番に向けて完成させていく技術に感服しながら軽快な二楽章が終わる。ソリストと健康上に配慮から三楽章入場者も無事着席し、夜空を思わせる美しい第三楽章が進む中で、合唱団の緊張感も高揚していく。

四楽章に入り、バリトンの独唱後の男声合唱「Freude」の音が力強く響いた。合唱も練習以上の仕上がり感の中、曲が進む。「歓喜の歌」の再現から、自己を超え、誰かに背中を押されるようだ。練習では味わったことのない音の渦の中にいる。しかも他のパートがよく聞こえる。二重フーガの部分で、まるで歓喜の乱舞の中にあるかのようだ。団員それぞれが、実力以上の音楽経験をしたのではないだろうか。



まさに、「Deine Zauber」の魔力でコーダに突入して一気に曲を閉じる。続いて学長の指揮の学歌が演奏された。練習から本番前貴重な経験をさせていただきました。協力していただいた多数の方々心より感謝いたします。

埼玉学習センターの学生活動に参加してみませんか？

未来の会

代表者 及び 連絡先 嶋崎 洋明

048-772-7694

「未来の会」は平成17年3月より黒澤英典先生の面接授業を受けたメンバーが「孤独に学び、孤独に帰る」を打破し、共に学びながら、未来を創造して大学生活を楽しく有意義に過ごすことを目指して、結束して出来たサークルです。

「黒澤英典先生による読書会」「絵手紙教室」「県内近隣の散策」等を実施しております。埼玉フェスタでは「絵手紙教室」が好評を博して居ります。今年は62円のハガキで自分の作品が配達される仕組みです。会員の野口さんが先生で、『へたがいい・へたでいい』のキャッチフレーズをそのままぶっつけ本番で皆様に書いて貰っています。

「黒澤英典先生の読書会」は先生指定の本を読み、3回くらいに分けて解説および質疑応答を行い、本の内容を十分に理解できるように指導を受けてきました。

県内の「紫陽花・古代蓮」「布沼の聖天様」「渋沢栄一・荻野吟子」の足跡等を訪ねる催しも行って参りました。

今年は、塙保己一の足跡を訪ねる予定です。

気軽に教室に足を運んでください。

最近は募集活動が低迷しマンネリ化しており、新たな加入を呼びかけますのでご参加お願いいたします。

注) 黒澤英典先生：武蔵大学名誉教授（未来の会顧問）

活動場所：埼玉学習センター講義室

活動時間：絵手紙教室月1不定期 読書会催行も不定期



代表者 及び 連絡先 福盛田 恵子

080-1242-7352

むぎの会

むぎの会は多くの皆様のご協力や支えにより発足したサークルです。さて、何をするサークルでしょう？交流会の企画・運営です。新たな共に学ぶ場の創造です。

第1回交流会は、小澤基弘先生のご講演『画家は何を描くのか』でした。第2回目は、『3.11を語る・伝える』をテーマに様々な場で活躍なさっている方々の報告でした。

第3回目は平成29年7月11日（火）の日帰り旅行『陸前高田市復興視察の旅』です。埼玉学習センター前所長の菅野峰明先生（陸前高田市ご出身）がご案内して下さいます。ご参加・ご協力をお願いいたします。詳細は学習センターの掲示板をご覧ください。

一緒に活動して下さる方を募集します。共に、私たちの学びの場を創っていきましょう。共学の種を播きましょう。



平成28年度第2学期 生涯学習奨励賞



埼玉学習センターでは、複数の専攻・コースを卒業された方を表彰する「生涯学習奨励賞」の制度を設けています。

平成28年度第2学期卒業生からも11名の皆様が表彰されました。

受賞された皆様、まことにおめでとうございます。
金剛賞を受賞された森川玲子様コメントをお寄せいただきましたので、掲載させていただきます。

「私の放送大学生活」



森川 玲子

放送大学に入学して21年、平成28年度は私にとってうれしいプレゼントをたくさんいただける年になりました。一つは、放送大学5専攻コースを制覇してこの3月25日の卒業式に学長表彰を受け名誉学生になりました。もう一つは、東京芸術大学奏楽堂においてベートーベンの第九演奏会に参加し、3月26日にそのすべてが実ったことです。

1975年に国連の世界婦人年が制定され、戦後の社会が市民生活に変わりました。10年間の行動計画で、国が女性や若者に様々な視野を広める機会を取り上げ、私もその影響を受けた一人です。現在の大きな政策の原点となっている女性の資質の向上や社会参加、環境や高齢化・福祉問題などにつき海外の実情について、各県単位で海外視察が行われ始め、主婦の私も茨城県の女性の海外視察研修の機会をいただきました。様々な問題に取り組み考え始めた1985年、放送大学が創立されたニュースは大変衝撃的で魅力的でした。

しかし、放送大学創立時はまだ実験的で、開講されている学習機関も東京中心であり、放送の通信環境も電波の届く範囲が限定的な状況でした。

私自身も子育て最中で自分の学習時間を作ることが難しい状態にありましたが、将来この学習に挑戦しようと心に決めました。大学入学は1995年に実現しました。学校が開校して10年目、地方都市でもケーブルTVで放映されるようになって一気に学習環境が整いました。昼間は地域活動、大学の科目は録音・録画して深夜の学習です。最初の専攻は社会と産業、続いて人間の探求、教育と心理、生活と福祉、そして自然と環境と、自分の生活環境に即した課題を体験し、学び、この21年間、私の社会活動の原動力となって高い専門性と新しい知識が支えてくれました。

学習を継続するためには心身を鍛え、視野を広めるため地方やフィールドワークにも積極的に出かけ、放送大学でしか体験できない様々な学習を経験しました。何時でも何処でも幾つになっても生涯現役と、地の探求の仲間であふれている放送大学は、これからも私の人生の一部です。

〔金剛賞〕 1名

森川 玲子 様

〔金賞〕 1名

吉澤 弘子 様

〔銀賞〕 2名

榊原 敏子 様

平野 ひろ子 様

〔銅賞〕 7名

小峯 哲雄 様

秦野 努 様

島方 巖子 様

江原 啓子 様

長谷川 晶一 様

山崎 武昭 様

長谷川 勝 様

(順不同)

面接授業の追加登録受付しています！！

① 空席を確認する。

(a) システムWAKABAから確認する。リアルタイム情報です。

(システムWAKABA→科目登録申請→空席照会→空席数・授業日・申請期限を確認)

※空席数は検索時のものです。申請時には変わっている場合があります。ご承知ください。

(b) 埼玉学習センター内の掲示を確認する。埼玉学習センター開設科目は毎日更新します。

② 受講したい科目を追加登録する。

(a) 当該科目を開設する学習センター窓口で申し込み。

(学生証と授業料をお持ちください。申込書は窓口にあります。)

(b) 現金書留による申し込み。

* 下記4つを全て同封し、現金書留で当該科目を開設する学習センター宛に郵送する。

- 追加登録申請書 (HPからダウンロードするか、面接授業時間割表にあるものを利用)
- 学生証のコピー
- 所定の授業料 (¥5,500/1科目)
- 82円切手を貼付した返信用封筒 (科目登録決定通知書をお送りします。)

2018年度卒業研究ガイダンス

2018年度に卒業研究の履修をお考えの方、まだ早いかなと考えているが興味のある方向けのガイダンスを行います。

当日は、事務・教員からの説明、履修修了者による発表会を予定しています。

10階事務窓口又はお電話 (048-650-2611) にてお申し込みください。

なお、6月上旬から「卒業研究履修の手引」を配布予定です。

日時

7月2日(日) 13:30~15:00

会場

埼玉学習センター 9階 第2講義室



当日はガイダンス終了後、履修修了者による卒業研究・修士論文研究発表会を開催します。(15:10~17:00)

お申し込みお待ちしております！

平成29年度第1学期単位認定試験について

—大学院の試験—

平成29年7月21日(金)・22日(土)

—教養学部の試験—

平成29年7月23日(日)~30日(日)
※7月24日(月)及び、28日(金)は閉所

①「学生証」を受取る。(受験に必要です。)

学生証には期限があります。ご確認ください。

試験期間前に、ご本人がお受取りください。

システムWAKABAへの顔写真の登録がない方は学生証を発行できません。システムWAKABAの学生カルテから登録をされるか、写真票(キャンパスネットワークからダウンロードするか、「学生生活の葉」にあります。)で本部へ依頼してください。本部へ依頼なさる場合は、発行までに2週間ほどかかりますので、ご注意ください。

② 通信指導を提出する。Webでの提出がお勧めです。

未提出もしくは不合格の場合は、受験が出来ません。

・提出期間:

郵送 5月24日(水)~6月7日(水) **本部必着**

Web 5月17日(水)10:00~6月7日(水)17:00

・添削結果返送時期: 6月末~7月初旬



③ 受験票が届く。

試験日の1週間ほど前までに、送付されます。

受験科目、試験時間、試験会場を確認し、「単位認定試験受験に際しての注意事項」をよく読んでください。

④ 受験する。

学生証、受験票をご持参のうえ、開始時間に余裕を持って来所する。

受験票に記載された講義室へ直接行ってください。ただし、前の時間の試験が終了するまでは試験室に入れません。

図書閲覧室のほか、自習室を設けていますので、ご利用ください。

講義室が新設されました!

平成29年4月より、8階に第6講義室が新設されました。

埼玉学習センターでは、面接授業での使用のほか、学生団体活動、グループ学習等で講義室の貸し出しをしています。

ご利用希望の方は、利用を希望する前月1日から、先着順に直接窓口で受け付けています。貸出時間は、特別な場合を除き、開所日の午前9時30分~午後5時までです。どうぞご利用ください!

いずれも14:00~16:00 於:学習センター講堂(8階)

公開講演会年間スケジュール

シリーズA <芸術は人間を救うか?>

- ・6月25日(日) 『オペラ彩の34年-ときめきと共に-』
 - ・8月6日(日) 『絵画表現の原点を考える』
 - ・10月22日(日) 『クラシック音楽における「救い」』
 - ・12月9日(土) 『漢字の文化史』
- 平成30年
- ・2月10日(土) 『美は心のサプリ』(仮題)

講師:和田 タカ子
(特定非営利活動法人オペラ彩 理事長)
講師:小澤 基弘
(放送大学埼玉学習センター 客員教授)
講師:茂木 一衛
(放送大学埼玉学習センター 客員教授)
講師:大橋 修一
(川口短期大学こども学科 教授)

講師:石原 進
(日本画家・日展会員)

シリーズB <正しく怖がるPart2>

(講演者、日程、題目等詳細は未定。現在、候補者に依頼中)

- ・「火山爆発」(巨大カルデラ爆発、富士山爆発)
 - ・「遺伝子組み換え」
 - ・「電力エネルギー」(化石燃料発電、原子力発電、太陽電池、風力・地熱発電)
 - ・「荒川氾濫、洪水」
 - ・「AI、ロボット」
- ※ シリーズBは7月、9月、11月、平成30年1月、2月のいずれかの土日

☆近日中にシリーズA、シリーズB共に詳細が確定します。HP、ポスター等でご確認ください。☆
☆多くの学生、同窓生、一般市民が参加されますよう、期待しています。☆

サロンしぶや

『戦後中編小説の代表作—
さまざまな人間観と味わい—』

場所: 第1講義室(予定)

時間: 14:00~16:00

講師: 渋谷 治美(埼玉学習センター所長)

【取り上げる作品・日程】

- ◎ 5月26日(金) 三島 由紀夫『金閣寺』1956
- ◎ 7月13日(木) 阿部 公房『砂の女』1962
- ◎ 9月15日(金) 遠藤 周作『沈黙』1966
- ◎ 11月17日(金) 大岡 昇平『野火』1951
- ◎ 平成30年1月11日(木) 大江 健三郎『万延元年のフットボール』1967
- ◎ 3月16日(金) 太宰 治『人間失格』1948

☆一度は読んでいる、ないし、この機会に読んで上で参加することが望ましいですが、未読で参加も可。

☆☆その他のサロンも決まり次第 随時HP、ポスター等でお知らせします。☆☆

サロン情報

詳しくは埼玉学習センターのホームページをご覧ください

埼玉学習センターに関する情報は、ホームページでいち早くお知らせ
しています。是非、ご覧ください。

放送大学 埼玉

検索

〒330-0853 さいたま市大宮区錦町682-2
大宮情報文化センター(通称: JACK大宮)内(受付: 10階)
TEL 048-650-2611 FAX 048-650-2615

